

# 県内図書館紹介

## 花巻市立図書館

### 1. 概要

平成18年1月1日に、花巻市・大迫町・石鳥谷町・東和町が合併し、「早池峰の風薫る安らぎと活力に満ちたイーハトーブはなまき」を将来像とする人口10万6千人の新たな「花巻市」が誕生しました。

花巻市の図書館は、旧市町単位に4館あり、花巻市全体での蔵書数は33万冊となりました。それぞれの館の特色としては、宮沢賢治・高村光太郎・新渡戸稲造・柏葉幸子などの著書や研究図書等を収集する花巻図書館。早池峰神楽や全国の伝統芸能などに関する資料を収集する大迫図書館。南部杜氏のゆかりの地で醸造関係など酒に関する資料を収集する石鳥谷図書館。また、東和図書館は、ゆったりした空間でくつろぎながら情報を収集したり、互いに交流を深めたりできる滞在型図書館として昨年12月にオープンしました。

### 2. 合併とこれから

合併にあたっては、各図書館が地域に根ざした生涯学習支援施設として運営することを基本とし

ながら、市民が合併のメリットを感じることができるサービスの構築を第一と考えました。その例として、図書や利用者のデータを一本化し、1枚の利用者カード(旧市町のカードも利用可)で全館利用できること。借りた図書はどここの館にでも返却できること。また、OPACによる蔵書検索は他館の図書も同時に見ることができ、予約すれば取り寄せて貸出を受けることも可能としました。現在、4館合わせ週100冊を超える図書が行き来し相互活用しております。今後は、財政的課題を踏まえながら効率的なサービス環境の整備充実に努めてまいります。



## 住田町中央公民館図書室

### 1. 概要

住田町は人口約7千人弱の町で、昨年、町制50周年を迎えました。面積の9割が森林という豊富な資源を活かし、「森林・林業日本一のまちづくり」を目指して、木質バイオマスエネルギーの導入や、森への理解を促す「森林(もり)の科学館」の整備などに取り組んでいます。また、町内には国内最大の洞内滝がある滝観洞や、宮沢賢治の愛した種山ヶ原、初夏にかけて多くの釣り人たちが訪れる気仙川などがある、自然豊かな町です。

### 2. 紹介

図書室は、住田町役場に隣接した生活改善センターの1階にあります。これまでのスペースでは手狭になったこともあり、平成15年度に改修工事が行われ、児童図書室と一般室の2室となり、ゆったり閲覧できるようになりました。リニューアルとともに、月1回だった日曜日の開館が毎週となり、今まで来られなかったという方からの利用も徐々に増えてきています。平成16年7月からはインターネットの開放を始め、現在3台で利用可能となりました。

また、平成16年5月から毎月第3土曜日に、ボランティアの方たちの協力によみきかせ会を行っています。

利用者の多くは近くに住む町民、なかでも役場近くの小学校の児童が約半数を占めています。今後は、遠隔地の住民も、読書に親しめるような体制や環境作りや、利用の少ない中高生や青年にも足を運んでもらえるような、親しみやすく、使いやすい図書室を作っていきたいと考えています。

